

## アレルギー症状 体内時計で緩和 山梨大がマウス実験

每日新聞 2016年4月5日 11時14分 (最終更新 4月5日 13時12分)

山梨大医学部の中尾篤人教授(免疫学)らの研究グループは、1日周期で体のリズムを刻む「体内時計」に作用する物質を使い、花粉症などのアレルギー症状を和らげる仕組みが人やマウスの細胞実験で分かったと発表した。中尾教授は「治療薬の開発に向けて前進した」と話している。

花粉症は、目や鼻の粘膜などにある免疫細胞が花粉に反応して症状が出る。 特に、くしゃみや鼻づまりなどアレルギー疾患の多くは、昼に軽く、夜間や朝 方は重くなる傾向にあると言われている。

この変化について、中尾教授らはこれまでの研究で、免疫細胞内で体内時計を動かすたんぱく質が関わっていると突き止めていた。このうち一つのたんぱく質が減ると症状が悪化することも知られており、中尾教授らは今回、このたんぱく質を分解・減少させる酵素「カゼインキナーゼ」の働きを抑える物質をマウスに与えた。

米国の製薬会社が不眠症の治療薬を作る過程でできた化合物の一種で、マウスに投与すると、「くしゃみ」や「鼻かき行動」などの症状が軽くなり、人間でも花粉症患者の免疫細胞を採取して同様の実験を行った結果、症状が和らぐことを示す反応が出たという。体内時計が夜から昼に切り替わったためとみられている。

中尾教授は、アレルギー疾患にも効果がある可能性があるとして、この製薬 会社と実用化に向けた準備を進めている。中尾教授は「これまでとは違い、新 たなアプローチの治療が可能になる」と期待している。【松本光樹】

日

膜などにある免疫細胞が

花粉症は、目や鼻の粘

の多くは、屋に軽く、夜 まりなどアレルギー疾患 る。特に、くしゃみや鼻づ 化粉に反応して症状が出

究グループは、1日周期 した。中尾教授は「治療 胞実験で分かったと発表 仕組みが人やマウスの細 レルギー症状を和らげる を使い、花粉症などのア で体のリズムを刻む「体 内時計」に作用する物質 た」と話している。 楽の開発に向けて前進し (教授(免疫学)らの研 山梨大医学部の中尾篤

# マウス実験

శ్ర にあると言われてい 間や朝方は重くなる傾向

が関わっていると突き止 分解・減少させる酵素 今回、このたんぱく質を めていた。このうち一つ 時計を動かすたんばく鷲 尾教授らはこれまでの研 れており、中尾教授らは 状が悪化することも知ら のたんぱく質が減ると症 この変化について、中 免疫細胞内で体内 状が和らぐことを示す反 応が出たという。体内時 の実験を行った結果、症

働きを抑える物質をマウ スに与えた。 「カゼインキナーゼ」の

疫細胞を採取して同様 などの症状が軽くなり しゃみ」や「鼻かき行動 できた化合物の一種で、 マウスに投与すると、「く 症の治療薬を作る過程で 八間でも花粉症患者の免 米国の製薬会社が不眠

් බ් ったためとみられてい 計が夜から昼に切り替わ

製薬会社と実用化に向け 期待している。 の治療が可能になる」と 違い、新たなアプローチ 能性があるとして、この ー疾患にも効果がある可 た準備を進めている。中 尾教授は「これまでとは 中尾教授は、アレルギ

部地域既報 松本光樹



Yahoo! JAPAN <a href="http://www.yahoo.co.jp/">http://www.yahoo.co.jp/</a>



### <アレルギー症状>体内時計で緩和 山梨大がマウス実験

毎日新聞 4月5日(火)11時14分配信



山梨大医学部の中尾篤人教授(免疫学)らの研究グループは、1日周期で体のリズムを刻む「体内時計」に作用する物質を使い、花粉症などのアレルギー症状を和らげる仕組みが人やマウスの細胞実験で分かったと発表した。中尾教授は「治療薬の開発に向けて前進した」と話している。

花粉症は、目や鼻の粘膜などにある免疫細胞が花粉に反応して症状が出る。特に、くしゃみや鼻づまりなどアレルギー疾患の多くは、昼に軽く、夜間や朝方は重くなる傾向にあると言われている。

この変化について、中尾教授らはこれまでの研究で、免疫細胞内で体内時計を動かすたんぱく質が関わっていると突き止めていた。このうち一つのたんぱく質が減ると症状が悪化することも知られており、中尾教授らは今回、このたんぱく質を分解・減少させる酵素「カゼインキナーゼ」の働きを抑える物質をマウスに与えた。

米国の製薬会社が不眠症の治療薬を作る過程でできた化合物の一種で、マウスに 投与すると、「くしゃみ」や「鼻かき行動」などの症状が軽くなり、人間でも花粉 症患者の免疫細胞を採取して同様の実験を行った結果、症状が和らぐことを示す反 応が出たという。体内時計が夜から昼に切り替わったためとみられている。

中尾教授は、アレルギー疾患にも効果がある可能性があるとして、この製薬会社 と実用化に向けた準備を進めている。中尾教授は「これまでとは違い、新たなアプローチの治療が可能になる」と期待している。【松本光樹】

<アレルギー症状>体内時計で緩和 山梨大がマウス実験(毎日新聞)-Yahoo!ニュース http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160405-00000040-mai-soci